

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

仲間との絆が生んだ数々の感動 優勝・入賞・県大会出場多数！

6月8・9日に行われた令和6年度二戸地区中総体において、数々の感動的なドラマが繰り広げられました。仲間との固い絆、指導して下さった先生・コーチとの信頼関係、そして、支えてくれた保護者の皆様の思いがひとつになって生まれた結果だと思えます。成績も多数の優勝と入賞を獲得しました。

優勝

サッカー部 男子バレー部 男子バスケット（金中合同）部
女子剣道部 柔道部（男子団体・女子団体）

2位

☆男子剣道部 男子テニス部 ☆女子卓球部

3位

男子卓球部 ☆女子テニス部

<個人の部>

団体・個人とも1位は県大会に進みます。2位以下は☆が目印となります。

- 1位 足立結吾 田村曖斗 内城考希 佐藤望初 栗原百花 小野寺理子（柔道）
吉澤夏月（剣道）
- 2位☆三上陽太（柔道） ☆平泉舞（剣道）
- 3位☆圓子陽向 ☆浪岡凜乃☆中渡麗乃（卓球） 獅子内祐希 奥 洋介（柔道）
泉山 諒（柔道）☆堂ヶ澤蝶・山本光 ☆田中柑菜・大石里奈（テニス）
工藤蒼彩（剣道）

<観戦記> すべての参加選手への応援はかないませんでした。視察も兼ねて各会場に足を運びました。

最後の大会に挑む3年生は、必死の表情で点差や結果にかかわらず誰一人あきらめることなく最後まで全力で戦っていました。それを支える1・2年生も、ベンチ内外から声を出し、チーム全員で戦っているのが本部席まで伝わってきました。それは選手だけではなく、指示を出す監督・コーチ、そして保護者のみんなが、腹の底から声を振り絞って選手に大きな声援を送り励ましていました。

県大会をかけた地区予選のため、どの試合でも勝者と敗者が決したわけですが、この大会に参加した人にしか得ることのできない大きな学びが存在します。その学びと思い出すタイミングは、人それぞれに異なることですが、きっとこれからの人生の大事なポイントで役に立つことと思います。また、この大会に向けて築いてきた仲間との絆は、これからもつながり続け、きっと大きな財産になることでしょう。

それぞれの試合を応援しながら、たくさんの感動をいただき、福中生の永遠の躍進を強く感じました。

県大会に進む皆さんは、学校の代表そして地域の代表として練習に励んでください。惜しくも、出場を逃した皆さんは心の整理に時間がかかるかもしれませんが、どこかで区切りをつけて次のステージに向けて踏み出しましょう。そして、これからの未来も自分の足で、自分の手で、切り拓いていきましょう。

とても忙しくて大変だと思っていた子どものおかげ。最後の応援を終えたとき、力が抜けてさびしかったなあ。